

kintone認定資格 エキスパート試験 補足資料

kintone認定資格 事務局

2024年8月実施分



目次

1. エキスパート試験 小論文パート
 - 1-1. 出題構成
 - 1-2. 評価観点・評価尺度
 - 1-3. 出題イメージ
2. エキスパート試験 実績登録パート
 - 2-1. 出題構成(KME・SDE)
 - 2-2. 評価観点・評価尺度
3. エキスパート試験 スコアレポート概要

1. エキスパート試験 小論文パート

1-1. 出題構成

小論文は、大問が3つでそれぞれシナリオに沿った設問に解答する形式となります。

分類	大問	小問1	小問2	小問3	小問4	小問5
小論文	大問1	多肢選択式	100～300文字程度の論述形式			500～600字程度の論述
	大問2					
	大問3					

※ 大問は小問5で構成され、多肢選択式が1つ、100～300文字程度の論述が3つ、500～600字程度の論述が1つという内訳です。

1. エキスパート試験 小論文パート

1-2. 評価観点・評価尺度

エキスパート試験の小論文は、以下の「評価観点」と「評価尺度」で採点されます。

評価観点	評価概要	相対的重要度(※)	
		KME 配点	SDE 配点
0.kintone概念理解	kintoneの機能や制限事項を覚えるだけでなく、kintoneの特性を概念化して理解している。	5	5
1.目的設定	業務を本質的に理解し、適切に業務改善の目的を設定することができる。	20	5
2.プロジェクト企画	kintoneの特徴を活かせるような、kintone構築プロジェクトを企画することができる。	35	20
3.設計と構築	kintoneの特性に合わせて、パフォーマンスや保守を見据えた業務システムを効率的に開発することができる。	20	55
4.リリースと定着	kintoneで構築した業務システムを安全にリリースし、現場へのスムーズな定着を実現することができる。	10	10
5.運営	現場に展開された業務システムが継続的に効果を出すために、保守やトラブル対応を実施することができる。	5	3
6.継続企画	継続的な業務改善を実現するために、kintone社内教育やルール策定、kintone活用範囲の拡大検討を行うことができる。	5	2



評価尺度	評価尺度の概要
A	評価観点に関連するkintone SIGNPOSTの内容を正しく理解し、設問の状況に対して論理的に説明している。説明には、具体的な理由・根拠・解決策・提言などが書かれている。
B	評価観点に関連するkintone SIGNPOSTの内容を正しく理解し、設問の状況に対して論理的に説明している。
C	評価観点に関連するkintone SIGNPOSTの内容を正しく理解しているが、設問の状況に対して適切に活用できていない。
D	評価観点に関連するkintone SIGNPOSTの内容を正しく理解していない。
E	記載なし、採点不可、など。

※ 相対的重要度は、KME・SDEおよび評価観点ごとの相対的な配点を表しています。小論文試験の特性上、実際の配点とは差異が生じる場合があります。

※ STEPはkintone SIGNPOSTの内容を参照してください。

1. エキスパート試験 小論文パート

1-3. 出題イメージ

小論文形式では、以下のようなシナリオ問題をベースに5つの小問で構成されています。

シナリオ(抜粋)

コレベントリー株式会社は、本社を東京に構え大阪・愛媛・福岡にそれぞれ支社がある日用雑貨のメーカーである。従業員は約350名で、100名はアルバイトや派遣社員である。東京・大阪・福岡は営業拠点であり、愛媛に国内の製造工場がある。一部の製品は海外の会社に製造を委託している。

日用雑貨は、商品数が多く、小ロット短サイクルで市場に提供する必要がある。そのためできるだけ効率的に商品企画をすることが重要になる。商品企画のステータスは、アイデアの種～企画～承認①～生産計画～承認②～生産開始となり、生産された商品は順次卸業者へ販売される。アイデアの種から生産開始までの期間はおおよそ3ヶ月、長くても6ヶ月である。コレベントリー株式会社では常時100程度、年間で1,000程度の商品企画案件が走っているが、実際に新商品として市場に出回るのは年間約50種類である。

～中略～

あなたは商品企画部のマネージャーとして、kintoneを使って商品企画の案件管理を効率化したいと考えている。以下の問いに答えなさい。

設問

1. 案件管理システムを社外メンバーとも共通で利用する場合、活用すべきkintoneの機能として適切なものを選びなさい。

多肢選択式

2. 複数の組織でkintoneを活用する際に注意する点を100字以内で記述しなさい。**記述式**

3. 商品企画の案件管理においては「商品企画のステータス」をリアルタイムに把握し関係者と連携することが重要である。案件のステータスを管理する手段としてkintoneのプロセス管理機能を使う際の注意点をそれぞれ100文字以内で3つ記述しなさい。

記述式

4. 商品企画の案件管理アプリをkintoneで構築する際にあらかじめ確認しておくべき点を整理し、200字以内で記述しなさい。

記述式

5. コレベントリー株式会社において今回の「商品企画の案件管理効率化」を実現するために、どのような体制を組むべきだろうか。具体的な理由とともに600字以内で記述しなさい。**小論文**

2. エキスパート試験 実績登録パート

2-1. 出題構成 (KME)

実績登録は、論述テーマの中から1つを選択しご自身の実績を元に3つの小問に解答する形式となります。

STEP	論述テーマ
1.目的設定	業務改善プロジェクトにおいてシステム化のコンセプトを決める際の重要なポイント
2.プロジェクト企画	kintoneの活用範囲を広めるときのガバナンス設計をする上で重要なポイント
3.設計と構築	効率的なデータ活用を実現する業務システムの設計における重要なポイント
4.リリースと定着	リリース後も的確かつスピーディに業務システムを改善するための重要なポイント
5.運営	業務アプリを改修する際のトラブルを減らし安定した運用をするための重要なポイント
6.継続企画	業務改善を継続しつつユーザーの利便性を保つための重要なポイント

※ STEPはkintone SIGNPOSTの内容を参照してください。

小問	設問
小問1	選択したテーマに対してあなたが実際に携わった最近のプロジェクト内容を、400字程度で記述しなさい。 なお、kintoneを利用したプロジェクトについて記述すること。
小問2	小問1に記載した内容からの学びを踏まえて、選択したテーマに対するあなたの考えを200字程度で記述しなさい。
小問3	なぜ小問2のように考えたのか、その根拠を400字程度で記述しなさい。

2. エキスパート試験 実績登録パート

2-1. 出題構成 (SDE)

実績登録は、論述テーマの中から1つを選択しご自身の実績を元に3つの小問に解答する形式となります。

STEP	論述テーマ
1.目的設定	—
2.プロジェクト企画	現場ユーザーやIT部門の負担を減らすためにプロジェクト企画の段階で実施すべき重要なポイント
3.設計と構築	すでに本番稼働している業務に影響がないように開発する時の重要なポイント
4.リリースと定着	業務システムが現場にスムーズに浸透するための重要なポイント
5.運営	構築した業務システムを継続的に改善するための重要なポイント
6.継続企画	—

※ STEPはkintone SIGNPOSTの内容を参照してください。

※ STEP1とSTEP6はSDEのテーマ選択対象外です。

小問	設問
小問1	選択したテーマに対してあなたが実際に携わった最近のプロジェクト内容を、400字程度で記述しなさい。 なお、kintoneを利用したプロジェクトについて記述すること。
小問2	小問1に記載した内容からの学びを踏まえて、選択したテーマに対するあなたの考えを200字程度で記述しなさい。
小問3	なぜ小問2のように考えたのか、その根拠を400字程度で記述しなさい。

2. エキスパート試験 実績登録パート

2-2. 評価観点・評価尺度

エキスパート試験の実績登録は、以下の「評価観点」と「評価尺度」で採点されます。

評価観点	評価概要	相対的重要度(※)	
		KME 配点	SDE 配点
P1.論理的な論述	論述テーマを論点として、ご自身の主張と根拠で構成された記述をしていること。	30	30
P2.テーマへの適合	論述テーマに対して、狙いを絞って論述しており、論述テーマに関係しない内容は記述されていないこと。	30	30
P3.経験に基づく主張	論述テーマに対する主張が、「一般論」や「抽象概念」ではなく、ご自身のkintone経験を根拠として展開されていること。	40	40



評価尺度	評価尺度の概要
A	評価観点それぞれに対して、ご自身のkintone経験を踏まえて適切な記述がされている。かつ、テーマに対する主張に発展的・創造的な提言がされている。
B	評価観点それぞれに対して、ご自身のkintone経験を踏まえて適切な記述がされている。
C	評価観点それぞれに対して、ご自身のkintone経験との関連が弱く、主張と根拠に一貫性がない。
D	評価観点それぞれに対して、ご自身のkintone経験を踏まえていない。記述されている内容に明らかな間違いがある。
E	記載なし、採点不可、など。

※ 相対的重要度は、KME・SDEおよび評価観点ごとの相対的な配点を表しています。

3. エキスパート試験 スコアレポート概要

エキスパート試験のスコアレポートは小論文と実績登録それぞれの評価観点で表されます。

スコアレポートの表示例

対象	評価観点	評価
小論文	0.kintone概念理解	A
	1.目的設定	B
	2.プロジェクト企画	B
	3.設計と構築	A
	4.リリースと定着	C
	5.運営	B
	6.継続企画	B
実績登録	P1.論理的な論述	A
	P2.テーマへの適合	B
	P3.経験に基づく主張	A

